

皮膚の粘弾性の評価

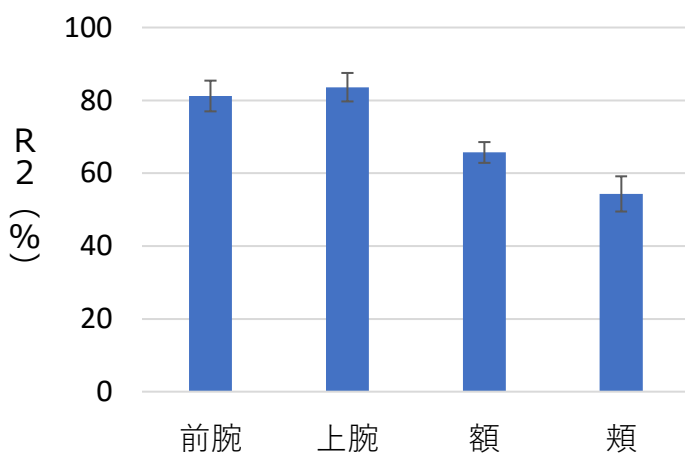


SUSCARE

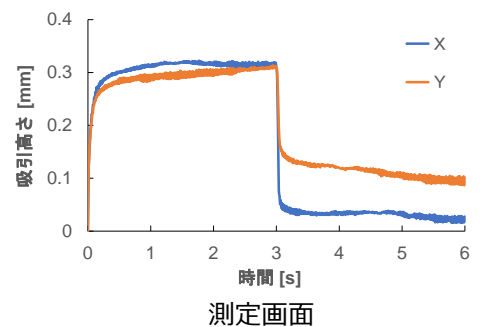
1. 測定条件

28～37歳の男性3名を対象に、一定の温湿度条件下にて、上腕内側、前腕内側、額、頬の皮膚の粘弾性の測定をした。測定部位毎の値を比較した。

2. 測定結果



R2 (%) : 吸引により皮膚を引っ張った状態から解放し、完全に元通りになったときを100%とした値。値が高い程、皮膚の弾力性が高いことを示す。他にもいくつかの指標がある。



3. 測定結果から得られる情報

測定結果から、身体の部位により皮膚の弾力性が異なるが、同じ部位でのばらつきは比較的小さいことがわかる。本装置を用いれば、化粧品を長期間に渡って使用した場合の粘弾性変化を検出できる可能性がある。化粧品や食品などの開発において、皮膚のハリや柔軟性への影響の確認の必要性が高まっている。皮膚の粘弾性を測定することで、開発品の評価や皮膚内部状態の推測ができる。

4. 使用機器／利用料金

マルチ皮膚計測装置

(Cutometer DUAL MPA580, Courage+Khazaka 社製)

中小企業 : 2,870 円 / 1時間

一般企業 : 5,740 円 / 1時間

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。

ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE